

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟看護医療専門学校
設置者名	学校法人 北都健勝学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	看護学科	夜・通信	9単位	9単位	
	東洋医療学科	夜・通信	9単位	9単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 (情報公開→実務経験のある教員等による授業科目一覧) <a href="https://nnc.ac.jp/">https://nnc.ac.jp/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟看護医療専門学校
設置者名	学校法人 北都健勝学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学HPにて公表  
<https://nur.ac.jp/kikanyoken/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2021. 4. 1～ 2024. 3. 31	経営計画の策定
非常勤	会社役員 商工会議所会頭	2021. 4. 1～ 2024. 3. 31	地域連携
(備考) その他 外部理事 1 名 (非常勤 医療機関職員 2021. 4. 1～2024. 3. 31 同窓会連携)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟看護医療専門学校
設置者名	学校法人 北都健勝学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
<p><b>公表方法</b>                  学生便覧・講義概要(以下シラバス)は、毎年1月から3月にかけて加筆修正を行い、4月上旬をめどに公表予定。</p> <p><b>作成方法</b>                  シラバス内の学則、規程、学修の全体像の内容に関しては学校長、学校長補佐、看護学科教務主任、東洋医療学科教務主任、事務局長が内容を確認する。                  講義概要は、科目担当者が科目目標、授業形態、事前・事後学習、講義項目、講義内容の検討をし、必要に応じて内容の加筆修正を行う。また、講義で使用するテキストについても講義内容に沿った内容のものか確認を行う。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://nnc.ac.jp/public/">https://nnc.ac.jp/public/</a> (情報公開→シラバス、講義概要)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

### 科目の評価期日

科目の評価は、各科目の修了時に行う。ただし、学校長又は担当教員が必要と認めるときは、修了前であっても、臨時に行うことができる。

### 科目の評価方法

科目の評価は、当該授業科目を担当する教員・講師が、筆記試験・口頭試験・実技試験・レポート・その他適宜な方法により行い、臨地実習の評価は、所定の実習評価表により行う。

### 科目の評価対象

科目の評価を受ける資格は、当該科目毎に実施した授業時間数の3分の2以上出席した者に与える。

### 単位の授与

学校長は、授業科目を履修し、その成績で60点以上を得た者には、所定の単位を授与する。

### 学修の評価

成績の評価は、優、良、可、及び不可をもって表し、可以上を合格とする。

### 成績評価

各授業実施時間数の3分の2以上出席し、かつその授業科目の点数が60点以上であるとき単位を認定する。

単位認定は、単位認定会議を経て学校長が認定する。成績表は、学年末（毎年1回、3月から4月に送付）に学生及び保護者の住所へ郵送にて通知をする。ただし、前期単位認定後において、合格点（60点以上）を取ることができなかった科目がある場合は、各学科教員が学生に学習指導をするとともに、必要に応じて保護者に対しても十分な説明を行う。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

### 成績の分状況の把握について

成績分布状況については、単位認定会議の際に使用した本試験結果一覧表を元に各学科の在籍数から算出する。また、下位1/4に該当する学生の基準点数の算出方法については、本試験結果の平均点数を基準値とする。

### 運用方法

成績の判定については、前期1回、後期1回単位認定会議において認定する。単位認定会議（学校長、学校長補佐、副校長、副校長補佐、各学科教務主任、その他教職員が出席）では最終成績結果一覧表を元に学科、学年ごとに科目点数並びに評価（優・良・可・不可）を確認し成績の認定をする。

また、学生への成績通知については得点のみ通知をする。従って問題用紙並びに解答用紙の返却は原則行わない。なお、学生が試験問題を確認したい場合は、試験結果連絡日を含め土日祝日を除く2日間のみ教員室内で自分の問題用紙並びに解答用紙を確認することができる。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<https://nnc.ac.jp/public/>  
(情報公開→シラバス)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

#### 卒業認定に関する基本方針

本校では、下記の4項目を卒業認定の基本指針として定める。

- 【理念】 「人の心の杖であれ」の精神を持ち、社会に貢献する。
- 【態度・行動】 正しく観て、考え、判断し、行動する。
- 【知識・技術】 看護師、はり師・きゅう師としての基本的な知識・技術を持つ。
- 【意欲】 自分の仕事に明確な目的意識を持ち、生涯を通じて自らを高める。

#### 卒業認定について

##### 【看護学科】

看護学科については下記の3項目を満たした者に対し、卒業を認定する。

- 1) 3年以上在学すること。
- 2) 所定の単位（99単位）を修得していること。
- 3) 欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えるものについては、原則として卒業を認めない。  
※出席すべき日数とは以下の時間を足した総時間数である。  
①授業科目総時間数 3045時間。  
②オリエンテーションや課外活動、修学上の指導など、学校が出席することを義務付けた時間（入学式や卒業式などの学校行事やボランティア活動など）。

##### 【東洋医療学科】

東洋医療学科については下記の3項目を満たした者に対し、卒業を認定する。

- 1) 3年以上在学すること。
- 2) 所定の単位（96単位）を修得していること。
- 3) 欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えるものについては、原則として卒業を認めない。  
※出席すべき日数とは以下の時間を足した総時間数である。  
①授業科目総時間数 2760時間。  
②オリエンテーションや課外活動、修学上の指導など、学校が出席することを義務付けた時間（入学式や卒業式などの学校行事やボランティア活動など）。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

<https://nnc.ac.jp/public/>  
(情報公開→シラバス)



<p>他校で単位修得済みの成績の記載は「修得済」とする。 また、学生への成績通知については得点のみ通知をする。なお、試験問題を確認する場合は、試験結果連絡日を含め2日間のみ教員室内で確認することができる。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p><b>進級認定基準</b> 単位制であるため、取得単位に関わらず進級することができる。</p> <p><b>卒業認定基準</b> ・3年以上在学すること。 ・所定の単位（99単位）を修得していること。 ・欠席日数が出席すべき日数（※1）の3分の1を超えるものについては、原則として卒業を認めない。 ※出席すべき日数とは以下の時間を足した総時間数である。 ①授業科目総時間数3045時間。 ②オリエンテーションや課外活動、修学上の指導など、学校が出席することを義務付けた時間。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>1 学年を複数の教員が担当する「学年担任制」を導入しており、学年担任は学修上（課外活動含む）の指導や各種連絡を担当。また、学生生活の悩みや学習の仕方など、個別に相談を行うことができる「チューター制度」も取り入れている。 看護学科においては、実技における修得状況を評価する学科独自の「マイスター制度」を導入し、学生の意欲・技術力の向上に努めている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
42人 (100%)	0人 (0%)	40人 (95.2%)	2人 (4.8%)
<p>（主な就職、業界等） 総合病院等の医療業界</p>			
<p>（就職指導内容） 学内就職説明会の開催、履歴書の書き方・面接指導等</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 看護師国家資格</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133人	9人	6.8%

(中途退学の主な理由) 進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 1 学年を複数の教員が担当する「学年担任制」を導入しており、学年担任は学修上(課外活動含む)の指導や各種連絡を担当。また、学生生活の悩みや学習の仕方など、個別に相談を行うことができる「チューター制度」を採用し、学校生活のサポートを行っている。 また、保護者および学生との個別面談にて状況の把握、適切な対処を検討する。尚、個別面談は担当教員をはじめ教務主任、副校長が担当する。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	東洋医療学科 (単位制)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	96 単位	72 単位	5 単位	4 単位	0 単位	15 単位
			96 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
45 人		17 人	0 人	6 人	13 人	19 人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p><b>公表方法</b> 学生便覧・講義概要(以下シラバス)は、毎年1月から3月にかけて加筆修正を行い、4月上旬をめどに公表予定。</p> <p><b>作成方法</b> シラバス内の学則、規程、学修の全体像の内容に関しては学校長、学校長補佐、看護学科教務主任、東洋医療学科教務主任、事務局長が内容を確認する。 講義概要は、科目担当者が科目目標、授業形態、事前・事後学習、講義項目、講義内容の検討をし、必要に応じて内容の加筆修正を行う。また、講義で使用するテキストについても講義内容に沿った内容のものか確認を行う。</p>
成績評価の基準・方法



<p>各科目の評価は、科目担当教員が試験（レポート課題等を含む）や提出物、出席状況、受講態度（課題の取り組み姿勢や積極性等）などから評価を行う。具体的な成績評価は以下の通りである。</p> <p>「優」：80点～100点  「良」：70点～79点  「可」：60点～69点  「不可」：59点以下（不合格）</p> <p>他校で単位修得済みの成績の記載は「修得済」とする。  また、学生への成績通知については得点のみ通知をする。なお、試験問題を確認する場合は、試験結果連絡日を含め2日間のみ教員室内で確認することができる。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p><b>進級認定基準</b>  単位制であるため、取得単位に関わらず進級することができる。</p> <p><b>卒業認定基準</b>  ・3年以上在学すること。  ・所定の単位（96単位）を修得していること。  ・欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えるものについては、原則として卒業を認めない。  ※出席すべき日数とは以下の時間を足した総時間数である。  ①授業科目総時間数2760時間。  ②オリエンテーションや課外活動、修学上の指導など、学校が出席することを義務付けた時間。</p>
<p>学修支援等</p> <p>1 学年を複数の教員が担当する「学年担任制」を導入しており、学年担任は学修上（課外活動含む）の指導や各種連絡を担当。また、学生生活の悩みや学習の仕方など、個別に相談を行うことができる「チューター制度」を採用し、学校生活のサポートを行っている。  また、保護者および学生との個別面談にて状況の把握、適切な対処を検討する。尚、個別面談は担当教員をはじめ教務主任、副校長が担当する。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	3人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 鍼灸院、鍼灸接骨院等の医療業界			
(就職指導内容) 学内就職説明会の開催、履歴書の書き方・面接指導等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) はり師国家資格、きゅう師国家資格、介護予防運動指導員
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11人	1人	9.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 1 学年を複数の教員が担当する「学年担任制」を導入しており、学年担任は学修上(課外活動含む)の指導や各種連絡を担当。また、学生生活の悩みや学習の仕方など、個別に相談を行うことができる「チューター制度」を採用し、学校生活のサポートを行っている。 また、保護者および学生との個別面談にて状況の把握、適切な対処を検討する。尚、個別面談は担当教員をはじめ教務主任、副校長が担当する。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科	400,000 円	720,000 円	320,000 円	
東洋医療学科	400,000 円	720,000 円	320,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
チューター制による個別面談、学校独自の給付型奨学金および減免制度などの修学支援制度				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 ホームページにて公表 (情報公開→学校評価) <a href="https://nnc.ac.jp/public/">https://nnc.ac.jp/public/</a>
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) <b>基本方針</b> 学校関係者評価委員会は、学校運営評価および教育活動とその他学校運営の改善に向けた取組の適切性を評価するものとする。また、検討した評価結果については、学校長へ報告し、学校運営の改善に活かすことを目的とする。尚、評価項目は下記の9項目とする。

- (1) 学校運営
- (2) 教育課程・教育活動
- (3) 入学・卒業対策
- (4) 学生生活への支援
- (5) 管理運営・財政
- (6) 施設設備
- (7) 教職員の育成
- (8) 広報
- (9) 地域との連携

### 構成員

学校関係者評価委員は、下記の各号から学校長が委嘱する委員4名以上で構成する。また、委員とは別に委員会事務局として本校の事務職員を配置する。

- (1) 関連施設職員
- (2) 地域住民
- (3) 同窓生
- (4) その他学校長が適任であると認めた者

### 任期

学校関係者評価委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。また、委員に欠員が生じた場合は補充し、補充した委員の任期は前任者の残任期間とする。

### 委員長

学校関係者評価委員会におく委員長は、委員の互選による。また、委員長は会務を総理し、委員会の代表とする。

### 会議

学校関係者評価委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。ただし、委員に欠員が生じた場合は、代理の者が出席できるものとする。また、決議においては出席委員の過半数をもって決する。

### 事務

学校関係者評価委員会に関する事務は、招集の案内を含め本校の事務職員が担当する。

### 開催

学校関係者評価委員会は、学校運営評価の進捗状況に応じて次年度の計画策定までの間に1回以上開催する。

### 学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
みずき野東自治会	2020.4.1～2022.3.31	地域住民
一般社団法人 新潟鍼灸手技療法協会	2020.4.1～2022.3.31	関連施設職員
医療法人 水明会 佐潟公園病院	2020.4.1～2022.3.31	関連施設職員
新潟看護医療専門学校 同窓会	2020.4.1～2022.3.31	同窓生

学校関係者評価結果の公表方法
ホームページ上にて公表（情報公開→学校関係者評価） <a href="https://nnc.ac.jp/public/">https://nnc.ac.jp/public/</a>
第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

<a href="https://nnc.ac.jp/">https://nnc.ac.jp/</a>
---